

戦略的基礎研究推進事業 (CREST) 「脳を知る」のシンポジウム
” 脳神経科学の最先端2001”
開催案内

科学技術振興事業団 (JST)
研究領域「脳を知る」
研究統括 大塚 正徳

戦略的基礎研究推進プロジェクト「脳を知る」は平成8年4月発足後、5年半が経過し、この11月に、平成8年度選出研究代表者(6名)の研究チームがプロジェクトを終了します。プロジェクト終了時には最終シンポジウムを開催して研究成果を発表することになっていますが、今回も領域シンポジウムと併設で行うことになりました。以下のプログラムに示すように、平成8年度選出研究代表者の方々には5年間の研究成果のエッセンスを紹介していただきます。また、招待口演者には、現在または過去の「脳を知る」プロジェクトの共同研究者を中心に、関連他領域研究代表者も招待しました。脳・神経の生理、生化学、発生、回路形成、イオンチャネル、シナプスなどの機能・機作について最新の成果が発表されます。皆様方には万障お繰り合わせの上ご参集いただければ幸甚です。

開催期間：2001年11月21日(水)～22日(木)

会場：日本科学未来館7F(東京都江東区青梅2-41、
新交通ゆりかもめ、船の科学館下車、徒歩5分)

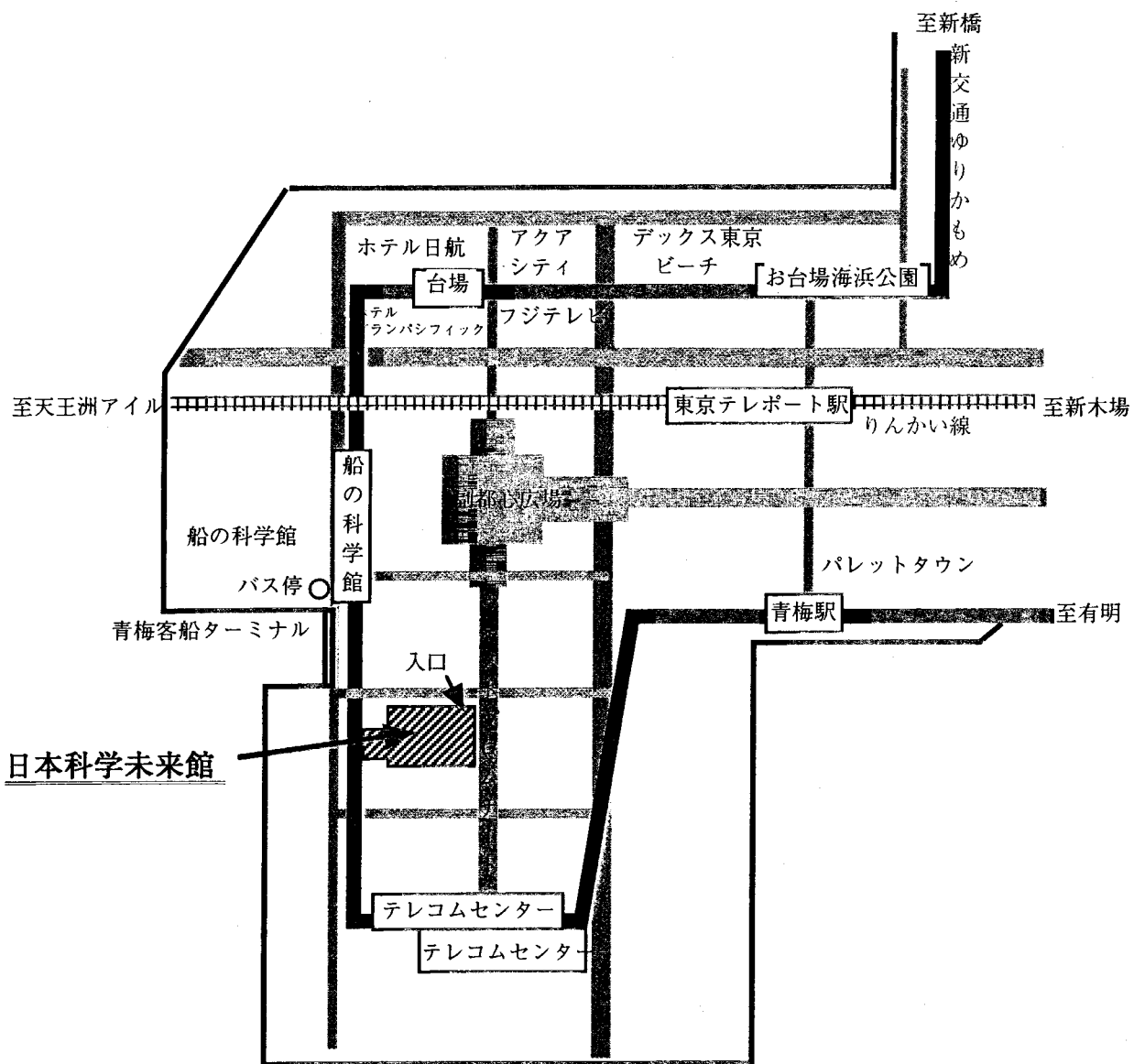
TEL03-3570-9151、FAX03-3570-9150

直通、TEL03-3570-9560

開催要領：

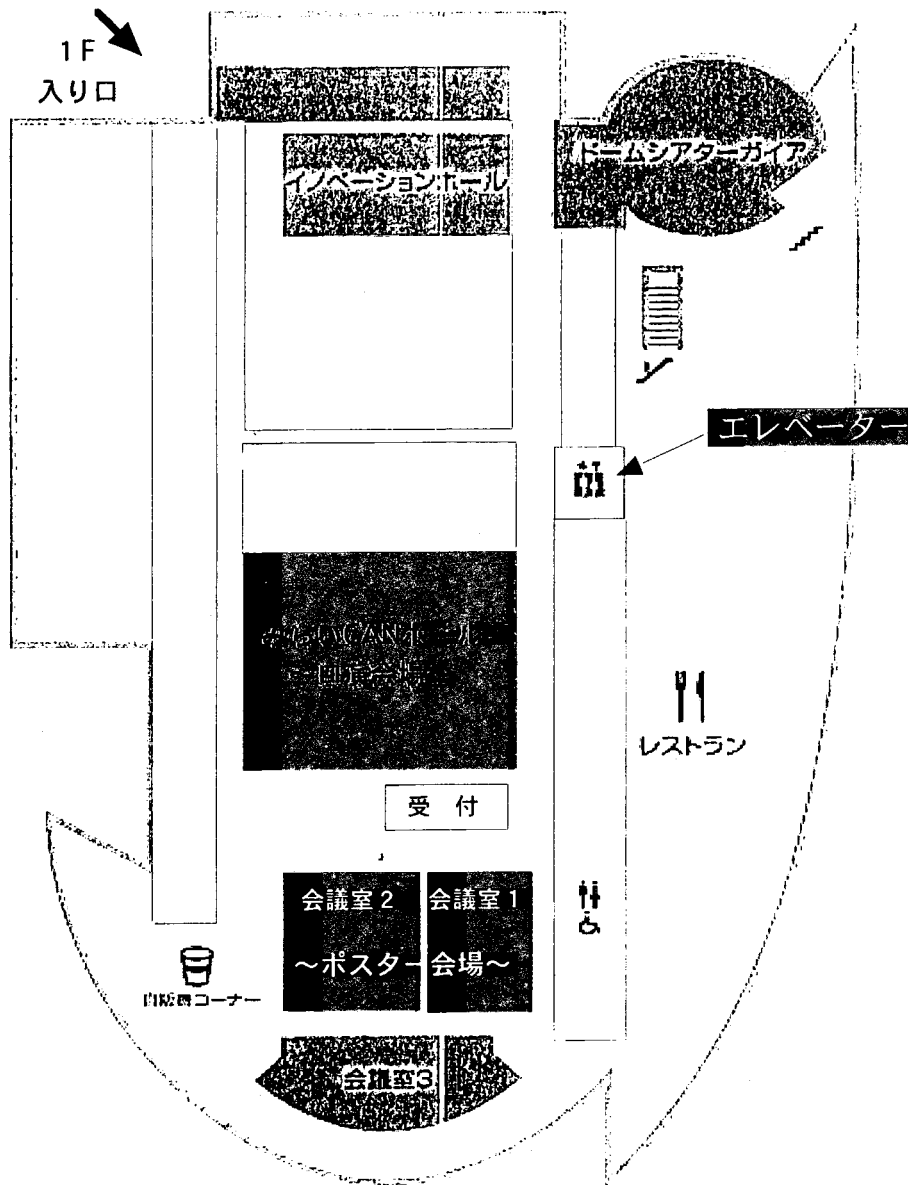
- ・参加登録費は無料です。参加者には当日講演要旨集をお渡しします。
- ・くわしい内容はホームページ <http://www.brain.crest.jst.go.jp/> に順次掲載。
- ・ポスター発表会場は7F会議室で、ボードの大きさは高さ210cm x 巾120cmです。
- ・懇親会は日本科学未来館7Fレストランにおいて立食形式で行います。
- ・参加希望者は下記事務局宛、E-mail：sympo@brain.crest.jst.go.jp または FAX に氏名、所属、住所、TEL、FAXなどを明記の上11月12日までに、お申し込み願います。

事務局：科学技術振興事業団 「脳を知る」研究事務所 技術参事 原田 節夫
〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6-15 黒龍芝公園ビル 西館4F
TEL 03-3434-4114 FAX 03-3434-4110
E-mail：harada@brain.crest.jst.go.jp



東京	JR山手線	新橋	ゆりかもめ	16分	370円	船の科学館	徒歩約4分	日本科学未来館	
						テレコムセンター	徒歩約5分		
東京	JR山手線	浜松町	貿易センター	徒歩2分	バスターミナル	都バス虹1系統	210円	日本科学未来館	
			日の出棧橋	徒歩8分	水上バス	お台場	船の科学館ライン		35分 520円
羽田空港	JR山手線	有楽町	地下鉄有楽町線	12分	190円	新木場	りんかい線	7分 230円	日本科学未来館
			東京モノレール	5分	190円	天王洲アイランド	りんかい線	3分 180円	
			東京モノレール	17分	400円	天王洲アイランド	りんかい線	3分 180円	日本科学未来館

7F平面図



- 会場は7階です。1階より専用エレベーターを使用して下さい。
- 口演会場は「みらいCANホール」です。
- ポスター会場は「会議室1」、「会議室2」です。
- 招待者・座長・口演者・研究代表者の控室は「会議室3」です。
事務局も同室です。
- 懇親会はレストラン“5Kプラネッツ”で行います。

“脳神経科学の最先端2001” プログラム

[11月21日 (水)]

- 開会挨拶 大塚 正徳 研究統括 9:30-9:35
- 座長：酒田 英夫 (聖徳栄養短期大学、領域アドバイザー)
- ・田中 啓治 (理研・脳科学総合研究センター) 9:35-10:20
- コラムレベルの空間分解能でのヒト機能的磁気共鳴イメージング
- ・Andreas A. Ioannides (理研・脳科学総合研究センター) 10:20-10:55
- Single trial regional activations elicited by simple sensory stimuli:
the organization hidden behind variability
- ・河野 憲二 (産業技術総合研究所) 10:55-11:40
- 短潜時でおこる視覚的追跡眼球運動の神経機構
- ・飯島 敏夫 (東北大学大学院生命科学研究所、産業技術総合研究所) 11:40-12:15
- 光で見る運動指令神経活動のダイナミクス
- <昼食休憩>
- 座長：村上 富士夫 (大阪大学大学院基礎工学研究科)
- ・佐藤 真 (福井医科大学) 13:15-13:50
- 大脳皮質脳室帯からの細胞移動開始を司る新しい分子機構
- ・裏出 良博 (大阪バイオサイエンス研究所) 13:50-14:25
- 脳膜による中枢神経機能の調節
- 座長：芳賀 達也 (学習院大学生命分子科学研究所)
- ・井原 康夫 (東大大学院医学系研究科) 14:25-15:10
- アミロイドβタンパクの産生と蓄積
- ・柳澤 勝彦 (国立長寿医療研究センター) 15:10-15:45
- アミロイドβ蛋白の産生・凝集・毒性発現機構への新たな視点
- [ポスター発表] (演題 P01~P87) 16:00-18:00
- <懇親会> 18:15-20:00

[11月22日(木)]

座長：永津 俊治 (藤田保健衛生大学、領域アドバイザー)

- ・ 藤澤 肇 (名古屋大学大学院理学系研究科) 9:30-10:15
セマフォリン/ニューロピリン/プレキシンによる神経形成の制御
- ・ 八木 健 (大阪大学細胞生体工学センター) 10:15-10:50
脳神経系で発現する CNR / protocadherin ファミリーの解析
- ・ 野田 昌晴 (岡崎共同研究機構基礎生物学研究所) 10:50-11:35
網膜における軸形成と領域特異的視神経投射の分子機構
- ・ 岡本 仁 (理研・脳科学総合研究センター) 11:35-12:10
ポストゲノム時代の神経分化機構研究

<昼食休憩>

座長：川合 述史 (自治医科大学、領域アドバイザー)

- ・ 瀬原 淳子 (京都大学再生医科学研究所) 13:10-13:45
形態形成における ADAM ファミリーの役割
- ・ 若松 馨 (群馬大学工学部) 13:45-14:20
受容体による G 蛋白質の活性化機構
- ・ 市川 眞澄 (東京都神経科学総合研究所) 14:20-14:55
フェロモン記憶とシナプスの可塑性

<休憩>

座長：平野 丈夫 (京都大学大学院理学系研究科)

- ・ 三品 昌美 (東京大学大学院医学系研究科) 15:10-15:55
シナプス形成と脳高次機能
- ・ 八尾 寛 (東北大学大学院生命科学研究科) 15:55-16:30
カルシウムチャネルによるシナプス伝達制御
- ・ 小澤 滯司 (群馬大学医学部) 16:30-17:05
Ca²⁺ 透過性 AMPA 型グルタミン酸受容体を介する
グリアーシナプス間の機能連関
- 閉会挨拶 濱 清 領域アドバイザー 17:05-17:10

[ポスター発表]

11月21日(水) 16:00-18:00

[田中G] (P01~P10)

P01 Kang Cheng¹、R. Allen Waggoner¹、田中啓治^{1,2} (1 CREST・JST、2 理研脳センター認知機能表現研究チーム)

ヒト第一次視覚野眼優位性コラムの機能的磁気共鳴イメージング

P02 R. Allen Waggoner¹、Kang Cheng¹、田中啓治^{1,2} (1 CREST・JST、2 理研脳センター認知機能表現研究チーム)

第一次視覚野、MT野および第一次運動野における機能的磁気共鳴イメージングBOLD信号時間経過の比較研究

P03 上野賢一¹、Kang Cheng²、R. Allen Waggoner²、田中啓治^{1,2} (1 理研脳センター認知機能表現研究チーム、2 CREST/JST)

皮質表面マッピング法を用いたヒト後頭葉機能の4テスラ機能的磁気共鳴イメージング研究

P04 Farshad Moradi¹、Lichan C. Liu¹、K. Cheng³、R. Allen Waggoner³、田中啓治^{2,3}、Andreas A. Ioannides¹ (1 理研脳センター脳機能ダイナミクス研究チーム、2 認知機能表現研究チーム、3 CREST・JST)

脳磁計測と機能的磁気共鳴イメージングを用いたヒト第一次視覚野の小領域視覚刺激に対する活動の局在測定

P05 杉原 忠¹、S. Edelman²、田中啓治^{1,3} (1 理研脳センター認知機能表現研究チーム、2 コーネル大・心理学、3 CREST・JST)

観察角度普遍的物体再認識訓練を施したサルの下側頭葉皮質に見られる視覚反応のマッチ/非マッチ変調

P06 鈴木 航¹、松元健二¹、田中啓治^{1,2} (1 理研脳センター認知機能表現研究チーム、2 CREST・JST)

サル下側頭葉皮質細胞の視覚反応におよぼす弁別難易度の違いの影響

P07 松元健二¹、鈴木 航¹、田中啓治^{1,2} (1 理研脳センター認知機能表現研究チーム、2 CREST・JST)

目的指向的な行動決定に関わるサル前頭前野の神経機構

P08 Farshad A. Mansouri¹、松元健二²、田中啓治^{1,2} (1 CREST・JST、2 理研脳センター認知機能表現研究チーム)

ウィスコンシンカード分類課題遂行中のサル前頭前野から記録された分類規則の作業記憶および行動の誤りを表す神経活動

P09 福田光洋、ウママヘスワリ ラジャゴパラン、本間良太、松元まどか、西崎 誠、谷藤 学 (理研脳センター脳統合機能研究チーム)

内因性信号の分光学的解析により明らかにした神経活動依存的な局所血液量変化の空間分解能

P10 R. ウママヘスワリ¹、門野 博史²、高岡 秀幸³、本間 良太¹、谷藤 学¹ (1 理研脳センター脳統合機能研究チーム、2 埼玉大・院、3 オリンパス光学)

低コヒーレンストモグラフィー法による深さ分解脳機能計測 (functionalOCT)

[河野G] (P11~P13)

P11 *橋本幸紀^{1,2}、末広和代³、小高 泰¹、三浦健一郎³、河野憲二^{1,2,3} (1 産総研・脳神経情報研究部門、2 筑波大学、3 JST・CREST)

視標の目立ちやすさがヒトの追跡眼球運動の初期過程に及ぼす影響：両眼間転移

P12 *竹村 文^{1,5}、井上由香²、五味裕章^{4,5}、川人光男³、河野憲二^{1,5} (1 産総研、2 生理研、3 ATR人間情報通信研究所、4 NTT、CS研究所、5 CREST・JST)

追従眼球運動の運動信号を構築する神経メカニズムについて

P13 和田佳郎^{2,3}、小高 泰^{1,2}、河野憲二^{1,2} (1 産総研・脳神経情報研究部門、2 CREST・JST、3 奈良県立医大・第一生理)

前後方向の直線運動によって誘発されるvergenceに対する視覚刺激(広い視野パターンと小さい視標)の影響

[村上G] (P14~P19)

P14 *畠中由美子^{1,2}、村上富士夫^{1,2,3} (1 基礎生物学研究所、2 CREST・JST、3 大阪大学・基礎工)

大脳皮質スライス培養系を使った錐体細胞の分化と移動の解析

P15 *玉田篤史¹、村上富士夫^{1,2,3} (1 基礎生物学研究所・行動制御、2 大阪大学大学院・基礎工学研究科・脳科学、3 CREST・JST)

脈絡叢は Slit2 を介して嗅球僧帽細胞の軸索を反発する。

P16 小倉顕一、五嶋良郎 (横浜市立大学医学部薬理学講座、CREST・JST)

線虫 *C. elegans* の神経軸索誘導における *unc-51*、*unc-14*、*unc-33* 遺伝子の役割

P17 *佐々木幸生¹、C. Cheng^{1,2}、内田 稔^{1,4}、大島登志男⁵、八木 健⁶、谷口雅彦⁷、中山 孝³、工藤佳久⁴、大野重昭²、中村史雄¹、五嶋良郎^{1,8} (1 横浜市大・医・薬理、2 眼科、3 一生化、4 東薬大・生命科学、5 理研・脳科学総合セ、6 阪大・細胞生体工学セ、7 東大院・医・生化分子生物、8 CREST・JST)

神経ガイダンス分子セマフォリン3A情報伝達における Fyn-Cdk5 リン酸化カスケードの役割

P18 熊田竜郎^{1,2}、玉田篤史¹、村上富士夫^{1,2,3} (1 岡崎・基生研、2 CREST・JST、3 阪大院基礎工)

ラット発生期神経系における Robo タンパク質の発現分布

P19 花村健次¹、原田昭子¹、村上富士夫^{1,2}、山本巨彦¹ (1 阪大院・基礎工、2 CREST・JST)

BDNF と NT3 の基質依存性の軸索伸長制御機構

[裏出G] (P20~P26)

P20 間瀬光人^{1,5}、山田和雄¹、嶋津直樹²、清木興介³、織田浩司³、江口直美^{4,5}、裏出良博^{4,5} (1 名市大・医・脳神経外科、2 大隈病院・脳神経外科、3 マルハ中央研究所・生化、4 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物、5 CREST・JST)

正常圧水頭症および痴呆症患者の髄液中リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の変化と鑑別診断マーカーとしての有用性

P21 乾 隆^{1,2}、丸山敏彦^{1,2}、久田美貴³、間瀬光人⁴、清木興介⁵、織田浩司⁵、直木秀夫³、山田和雄⁴、裏出良博^{1,2} (1 CREST・JST、2 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物、3 サントリー・生有研、4 名市大・医・脳神経外科、5 マルハ中央研究所・生化)

くも膜下出血後の脳脊髄液中プロスタグランジンD合成酵素に結合する内因性リガンドはピリベルジンとその類縁体である。

P22 熊ノ郷晴子^{1,2}、黄志力²、藤森功^{1,2}、裏出良博^{1,2} (1 CREST・JST、2 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物)

In vivo 実験系を用いた脳膜におけるリポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の産生制御系の解明

P23 角山圭一^{1,2}、乾 隆^{1,2}、柏木雄次郎³、裏出良博^{1,2} (1 CREST・JST、2 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物、3 関西労災病院・心療内科・精神科)

ラット脳神経細胞へのリポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の取り込み機構の解析

P24 入倉大祐、裏出良博 (CREST・JST、大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物)

リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の反応機構

P25 桑幡裕子^{1,2}、江口直美²、望月貴年²、乾 隆^{1,2}、有竹浩介²、成宮 周³、早石 修²、裏出良博^{1,2} (1 CREST・JST、2 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物、3 京大院・医・神経細胞薬理)

リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素およびDP受容体遺伝子欠損マウスの睡眠調節異常

P26 江口直美^{1,2}、桑幡裕子^{1,2}、曲衛敏¹、黄志力¹、早石 修¹、成宮 周³、裏出良博^{1,2} (1 大阪バイオサイエンス研究所・分子行動生物、2 CREST・JST、3 京大院・医・神経細胞薬理)

前脳基底部くも膜柱状細胞に局在するDP受容体を介したアデノシン遊離とノンレム睡眠誘発

[井原G] (P27~P30)

P27 *澤村直哉^{1,2}、キョウ建生¹、William S. Garver³、Randall A. Heidenreich³、二宮治明⁴、大野耕策⁴、柳澤勝彦^{1,5}、道川 誠¹ (1 国立長寿医療研究センター痴呆疾患研究部、2 JST、3 The Univ. of Arizona, Steele Memorial Children's Research Center、4 鳥取大学医学部生命科学科神経生物学、5 CREST・JST)

ニーマンピック病C型モデルマウスにおけるMAPKの活性化に伴うタウ蛋白の部位特異的なリン酸化

P28 *齊 悦、森島真帆、佐藤 徹、井原康夫 (東大・院・医・神経病理)

変異型PS2(N141I)細胞株におけるガンマセクレターゼの特異性について

P29 *佐藤 徹^{1,2}、斉 悦¹、石浦章一²、井原康夫¹ (1 東大・院・医・神経病理、2 東大・院・総合・生命)

γセクレターゼの基質特異性の解析

P30 廣谷直子^{1,2}、森島真帆¹、堂前 直³、瀧尾擴士³、井原康夫^{1,2} (1 東大・院・医・神経病理、2 CREST、3 理研・生体分子解析室)

AD脳に蓄積するAβ dimerの構造解析

[藤澤G] (P31~P40)

P31 佐藤泰史¹、平田たつみ¹、藤澤 肇² (1 遺伝研・脳機能、2 名大院・理・生命理学)

神経突起伸長に関わる M6a タンパクの解析

P32 平田たつみ¹、藤澤 肇²、Jane Y. Wu³、Yi Rao³ (1 国立遺伝学研究所、2 名古屋大学大学院、3 Washington Univ. School of Medicine)

嗅球軸索の短距離ガイダンスは反発性因子 Slit とは独立に機能する

P33 川崎能彦、平田たつみ (国立遺伝学研究所)

嗅索ガイドポスト細胞の移動制御機構

P34 *藤井 崇¹、藤澤 肇^{1,2}、高木 新¹ (1 名大院・理・生命理学、2 CREST・JST)

線虫 *C. elegans* プレキシンの解析

P35 塩井 剛²、藤澤 肇^{1,2}、*高木 新¹ (1 名大院・理・生命理学、2 CREST・JST)

線虫 *C. elegans* 神経の体壁固定に必要な *ven-1* 遺伝子の解析

P36 *武藤哲司^{1,2}、八木 健^{1,3} (1 阪大・細胞生体工学センター、2 総合研究大学院大学、3 CREST・JST)

Cell-Adhesion Activity of Cadherin-Related Neuronal Receptor (CNR) Family

P37 *平山晃齊^{1,2,3}、杉野英彦¹、八木 健^{1,2,4} (1 阪大・細胞生体工学センター、2 岡崎・生理研、3 総合研究大学院大学、4 CREST・JST)

シナプスに局在する CNR ファミリー遺伝子の転写産物における体細胞突然変異

P38 *先崎浩次^{1,3}、八木 健^{1,2,3} (1 岡崎・生理研・高次神経機構研究部門 2 阪学細胞生体工学センター・遺伝情報システム研究部門 3 CREST・JST)

大脳皮質層構造形成における CNR カドヘリン分子の機能と系統進化

P39 *田仲祐介^{1,2}、八木 健^{1,2,3} (1 生理研・高次神経機構、2 阪大・細胞生体工学センター・遺伝情報システム、3 CREST・JST)

マウス嗅球での周波数帯によって分離される独立な2つの経路

P40 *竹井 豊¹、濱田 俊²、先崎浩次³、武藤哲司^{2,4}、杉野秀彦²、八木 健^{1,2,3} (1 生理研、2 阪大・細胞生体工学センター、3 CREST・JST、4 総合研究大学院大学)

新規 CNRc1 及び CNRc2 の同定

[野田G] (P41~P48)

P41 *鈴木亮子¹、新谷隆史¹、作田 拓^{1,2}、加藤 彰^{1,3}、大河原 剛^{1,3}、大隅典子⁴、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 CREST・JST、3 総研大・生命科学、4 東北大院・医・細胞生物)

網膜で領域特異的に局在する Retinoid Dehydrogenases

P42 *作田 拓^{1,2}、鈴木亮子¹、高橋弘雄^{1,3}、加藤 彰^{1,3}、新谷隆史¹、家村俊一郎⁴、山本隆正⁴、上野直人⁴、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 CREST・JST、3 総研大・生命科学、4 基生研・形態形成)

網膜腹側特異的 BMP-4 アンタゴニスト Ventroptin の機能解析

P43 *深田齊秀^{1,2}、渡我部育子¹、湯浅純一¹、河内浩行^{1,3}、黒岩麻里⁴、松田洋一⁴、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 総研大・生命科学、3 CREST・JST、4 北大院・地球環境科学・生態環境科学)

新規 CRMP ファミリー分子、CRMP5 の同定

P44 *湯浅純一¹、鈴木亮子¹、大河原剛^{1,2}、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 総研大・生命科学、3 CREST・JST)

CRMP ファミリーの新規スプライシングバリエントの同定と機能解析

P45 *前田信明¹、河内浩行^{1,2}、藤川顕寛^{1,2}、野田昌晴^{1,2} (1 基生研・感覚情報処理、2 CREST・JST)

受容体型チロシンホスファターゼ PTP ζ の基質分子、GIT1 の同定

P46 *藤川顕寛^{1,3}、渡辺英治²、阪口 岳⁴、勝浦五郎⁴、服部聡子⁴、宋文杰⁵、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 基生研・形質転換生物研究施設、3 CREST・JST、4 塩野義製薬(株)創薬研・神経薬理、5 阪大院・工)

PTPと遺伝子欠損マウスにおける中枢ドーパミン神経系の機能障害

P47 *門松健治¹、村松寿子¹、前田信明²、野田昌晴²、村松 喬¹ (1 名大院・医・生化、2 基生研・感覚情報処理)

受容体型チロシンフォスファターゼ (PTP) と LDL 受容体ファミリーメンバー (LRP1) によるヘパリン結合性成長因子ミッドカインのシグナル伝達

P48 *檜山武史^{1,3}、渡辺英治²、吉田 繁^{4,5}、野田昌晴^{1,2,3} (1 基生研・感覚情報処理、2 基生研・形質転換生物研究施設、3 総研大・生命科学、4 長崎大医・神経感覚、5 生理研・細胞内代謝)

「Na_vチャンネルは脳弓下器官における塩分濃度のセンサーである」

[松崎G] (P49~P53)

P49 *野村 真¹、大隅典子^{1,2} (1 東北大学院・医・器官構築学分野、2 CREST・JST)

Pax6変異ラットを用いた嗅球神経細胞の発生機構の解析

P50 織原美奈子^{1,2}、斎藤麻衣^{1,2}、間田有香¹、相垣敏郎³、浜 千尋^{1,2} (1 理研・発生再生センター、2 CREST・JST、3 都立大・院理・生物)

神経回路形成を制御する遺伝子の探索—ショウジョウバエ脳を用いた異所発現スクリーニング—

P51 *黒原一人¹、栗崎知浩¹、若月修二¹、増田亜紀^{1,4}、鍋島陽一²、浅野雅秀³、岩倉洋一郎³、瀬原淳子¹ (1 京大・再生研・増殖制御、2 京大・院・医・病理、3 東大・医科研・ヒト疾患セ・細胞機能、4 CREST・JST)

メルトリンβ/ADAM19 遺伝子の形態形成における機能解析

P52 *栗崎知浩¹、増田亜紀^{1,4}、岩倉洋一郎²、鍋島陽一³、瀬原淳子¹ (1 京大・再生研・再生増殖、2 東大・医科研・ヒト疾患セ、3 京大・医・病理、4 CREST・JST)

形態形成におけるメルトリンαの役割

P53 *泉 裕士^{1,2}、古屋亜佐子^{1,2}、太田奈緒^{1,2}、松崎文雄^{1,2,3} (1 東北大・加齢研・神経機能情報、2 CREST・JST、3 理研・発生再生センター)

ショウジョウバエ神経幹細胞の非対称分裂異常突然変異のスクリーニング

[芳賀G] (P54~P60)

P54 *芳賀和子¹、芳賀達也^{1,2}、中迫雅由³ (1 CREST・JST、2 学習院・理・生命研、3 東大・分生研)

ムスカリン受容体結晶化の試み

P55 *武田茂樹¹、岡田知明²、能瀬栄美²、小暮克哉²、松村衣美子²、芳賀達也^{1,2} (1 学習院・理・生命研、2 CREST・JST)

ヒトゲノム情報から予想された新規Gタンパク質受容体に対するリガンド検索系の構築

P56 古川浩康¹、岡田知明¹、*芳賀達也^{1,2} (1 CREST・JST、2 学習院・理・生命研)

ムスカリン受容体・Gi1α融合タンパク質の発現・精製

P57 *吉田典弘¹、芳賀達也^{2,3} (1 東大・医・神経生化、2 学習院・理・生命研、3 CREST・JST)

ムスカリン受容体M2, M4サブタイプの細胞内移行

P58 *奥田隆志¹、貝塚千奈²、芳賀達也^{2,3} (1 東大・医・神経生化、2 CREST・JST、3 学習院・理・生命研)

高親和性コリントランスポーター遺伝子の単一塩基多型

P59 *小川治夫、豊島 近 (東大・分生研)

ホモロジーモデリングによるNaK-ATPaseのイオン結合部位

P60 *濱田季之¹、廣田洋¹、古川浩康²、武藤 裕³、横山茂之^{1,3}、石黒正路⁴、芳賀達也^{2,5}

(1 理研・ゲノム科学総合研究センター、2 CREST・JST、3 東大・理・生化学、4 サントリー・生有研、5 学習院・理・生命研)

ムスカリン性アセチルコリン受容体に結合した低分子リガンド類の構造

[市川G] (P61~P69)

P61 *黄光哲^{1,2}、椛 秀人¹ (1 高知医大・第一生理、2 CREST・JST)

副嗅球におけるシナプス長期増強とノルアドレナリン

P62 *谷口睦男、柁 秀人 (高知医大・第一生理)

マウス副嗅球スライス標本の僧帽細胞ム顆粒細胞間相反性シナプス電流に対する各種グルタミン酸受容体の作用

P63 松岡勝人^{1,2}、柁 秀人³、守屋敬子^{2,4}、市川眞澄^{2,4}、車田正男¹ (1 新潟大院・神経生物解剖、2 CREST・JST、3 高知医大・第一生理、4 都神経研・発生形態)

ブルース効果に関連のあるフェロモン記憶の長期カスケード

P64 松岡淳子^{1,2}、松岡勝人^{1,2}、杉浦弘子³、山形要人³、横須賀 誠⁴、市川眞澄^{1,5}、車田正男² (1 CREST・JST、2 新潟大院・神経生物解剖、3 都神経研・神経薬理、4 聖マリ医大・解剖、5 都神経研・発生形態)

交尾後の鋤鼻系における Arc 蛋白の発現

P65 横須賀 誠¹、佐原資謹²、根岸-加藤みどり⁴、市川眞澄^{3,4} (1 聖マリアンナ医大・解剖、2 東医歯大大学院・顎顔面生理、3 都神経研・発生形態、4 CREST・JST)

“ラット副嗅球僧帽・房飾細胞と顆粒細胞の結合様式と情報処理機構”

P66 岩田恵理、武内ゆかり、菊水健史、森 裕司 (東大院・農学生命科学研究科・獣医動物行動学) 雄ヤギフェロモン分子の探索

P67 *瀧上 周^{1,2}、宮下知之³、市川眞澄^{1,2} (1 CREST・JST、2 都神経研・発生形態、3 都神経研・分子神経生理)

フェロモン記憶に関わるノルアドレナリン (NA) システムの形態学的解析

P68 *村本和世¹、長田俊哉³、加藤-根岸みどり^{2,4}、守屋-伊藤敬子^{2,4}、黒田洋一郎¹、市川眞澄^{2,4} (1 東京都神経研・分子神経生物、2 東京都神経研・発生形態学、3 東工大院・生命理工・分子生命科学、4 CREST・JST)

副嗅球初代培養系におけるチロシン水酸化酵素含有神経細胞の分化と鋤鼻神経細胞との共培養による誘導

P69 山岸公子¹、守屋-伊藤敬子^{1,2,3}、市川眞澄^{2,4}、矢崎和盛¹ (1 都臨床研・超微形態、2 都神経研・発生形態、3 CREST・JST)

両生類 *Xenopus laevis* におけるフェロモン受容体遺伝子群発現の特異性

[三品 G] (P70~P79)

P70 *明石 馨¹、阿部学¹、柿崎利和¹、北山和子¹、夏目里恵^{1,2}、三品昌美^{2,3}、崎村建司^{1,2} (1 新潟大・脳研・細胞神経生物、2 CREST・JST、3 東大・院医・分子神経生物)

神経系解析のためのコンディショナルターゲティング法の開発

P71 *山崎真弥¹、深谷昌弘²、阿部 学¹、池野観寿¹、柿崎利和¹、渡辺雅彦²、崎村建司^{1,3} (1 新潟大・脳研・細胞神経生物、2 北大・院医・生体構造解析、3 CREST・JST)

GRIP1 N 末端構造の違いが δ パルミトイル化を決定する

P72 *池野観寿¹、山崎真弥¹、山倉智宏²、崎村建司^{1,3} (1 新潟大・脳研・細胞神経生物、2 新潟大・院医歯・器官制御、3 CREST・JST)

Lurcher 変異を利用したグルタミン酸受容体 δ サブユニットの電気生理学的解析

P73 *竹内倫徳^{1,2}、和井内賛^{1,2}、三品昌美^{1,2} (1 東大・院医・分子神経生物、2 CREST・JST)

GluR ϵ 2 型 NMDA 受容体による急性侵害刺激反応の制御

P74 *和井内賛^{1,5}、竹内倫徳^{1,5}、川本 進²、夏目里恵^{3,5}、崎村建司^{3,5}、深谷昌弘⁴、渡辺雅彦⁴、森 寿^{1,5}、三品昌美^{1,5} (1 東大・院医・分子神経生物、2 横浜市大・医・細菌、3 新潟大・脳研・細胞神経生物、4 北大・院医・成体構造解析、5 CREST・JST)

グルタミン酸受容体 δ 2 サブユニットに結合する delphilin 蛋白の生理機能解析

P75 *森 寿^{1,3}、岸本泰司²、川原茂敬^{2,3}、桐野 豊²、三品昌美^{1,3} (1 東京大・院医・分子神経生物、2 東京大・院薬・生物物理、3 CREST・JST)

NMDA 受容体 GluR ϵ 1 ノックアウトマウスにおける運動学習解析

P76 *片岡宏隆¹、深谷昌弘²、渡辺文寛¹、Kim Jomhee¹、森 寿^{1,3}、渡辺雅彦²、三品昌美^{1,3} (1 東大・院医・分子神経生物、2 北大・院医・生体構造解析、3 CREST・JST)

mRNA Subtraction 法を用いた新規小脳特異的遺伝子の単離

P77 *吉田知之¹、伊藤 綾¹、松田尚人^{1,2}、三品昌美^{1,2} (1 東大・院医・分子神経生物、2 CREST・JST)

ゼブラフィッシュ嗅神経細胞軸索誘導における PKA シグナルの役割

P78 *佐藤智美^{1,2}、三品昌美^{1,2} (1 東大・院医・分子神経生物、2 CREST・JST)

ゼブラフィッシュ運動変異領域における高解像度物理的地図作成と候補遺伝子の同定

P79 *松田尚人^{1,2}、三品昌美^{1,2} (1 東大・院医・分子神経生物、2 CREST・JST)
TMP-RDA 法によるゼブラフィッシュ脳形成分子の探索

[小澤G] (P80~P87)

P80 *岡田 隆^{1,3}、山田伸明^{2,3}、掛川 渉²、都筑馨介²、飯野昌枝²、田中光一¹、小澤澁司^{2,3} (1 東京医科歯科大学・難研、2 群馬大・医・第二生理、3 CREST・JST)

海馬 CA1 及び歯状回シナプスにおける Ca²⁺ 透過性 AMPA 受容体過剰発現時の空間学習

P81 *掛川 渉¹、山田伸明^{1,2}、飯野昌枝¹、都筑馨介¹、小澤澁司^{1,2} (1 群馬大・医・第二生理、2 CREST・JST)

海馬苔状線維シナプスへの Ca²⁺ 透過性 AMPA 受容体の機能発現とシナプス可塑性

P82 *齋藤 豊^{1,2}、都筑馨介¹、山田伸明^{1,4}、岡戸晴生³、三輪昭子³、小澤澁司^{1,4} (1 群馬大・医・第二生理、2 群馬大・医・麻酔・蘇生、3 都神経科学総研・分子神経生理、4 CREST・JST)

PC12 細胞への NR2A-2D cDNA 導入による内因性 NR1 増加および機能的 NMDA 受容体の発現

P83 *三輪昭子¹、須藤 亮²、山田伸明^{3,4}、小澤澁司^{3,4}、岡戸晴生^{1,4} (1 都神経科学総研・分子神経生理、2 群馬大・医・麻酔蘇生、3 群馬大・医・第二生理、4 CREST・JST)

アデノウイルスベクターを用いたグルタミン酸細胞毒性の解析

P84 *川口真也¹、平野丈夫^{1,2} (1 京大院・理・生物物理、2 CREST・JST)

小脳抑制性シナプス可塑性を制御する細胞内情報伝達系

P85 *藤井洋彰¹、平野丈夫^{1,2} (1 京大院・理・生物物理、2 CREST・JST)

Calcineurin による小脳長期抑圧後期相発現の調節

P86 *加藤明^{1,2}、吉田盛史¹、平野丈夫^{1,2} (1 CREST・JST、2 京大院・理・生物物理)

GluRd2 欠損マウス及び lurcher マウスは反射性眼球運動に異常を示す

P87 *姜 英男^{1,3}、木下彩栄²、重本隆一²、長瀬佳孝¹、石井久淑¹ (1 北海道医療大学・歯・生理、2 岡崎・生理研・脳形態解析研究部門、3 CREST・JST)

大脳基底核における標的細胞依存性の抑制性シナプス伝達の調節